

備前市事務事業評価表

事務事業名	人材養成講座事業	コード	03-02-03-04
		担当課・係	生涯学習課生涯学習係
		担当者	波多野 靖成
事業実施期間	平成15年度～	電話	0869-64-1841
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり	
	中項目(基本施策)	生きがいのあるまちづくり	
	小項目(施策)	成人教育（企業・地域との連携）	

事業について	
目的 (何のために)	テーマを定めて、市民の生涯学習における指導者を養成する。
対象 (誰・何を対象に)	地域で生涯学習を実践し、団体やグループ活動の指導者になっていただく市民
内容	地域あるいは各種団体や企業と連携して講師を招き、職員による啓発を織り交ぜながら講座を開催し、地域における生涯学習啓発のリーダーとなりうる人材を養成する。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
講座受講人数	21人	90人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	77	国庫補助金等	53	直接事業費	1,770	国庫補助金等	1,823
	人件費	740	受益者負担	1,770	人件費	0	受益者負担	0
	合計	817	一般財源等	817	合計	1,823	一般財源等	1,823

必要人員	0.10人	0.20人	
結果指標名	講座受講人数	講座受講人数	
結果指標量	21	90	
単位	人	人	
対前年比		428.57%	0.00%
活動にかかるコスト	817,000円	1,823,000円	
単位当たりコスト	38,905円	20,256円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	学習・文化・スポーツなど多様な生涯学習フェスティバルのテーマにふさわしい、興味ある研修への参加者数の増加を図り、県下1の大会と言われるようなフェスティバル開催を「官民協働」で目指す。		
成果指標名	講座受講人数	式又は説明	フェスティバル開催を機に、話題性の有る研修へ1人でも多く参加していただく。
	17年度	18年度	
成果指標量	21	90	
対前年比		428.57%	0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	平成19年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行ってください。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行ってください。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行ってください。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：	妥当性評価<A~E> A 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	18年度・19年度は「全国生涯学習フェスティバル」ボランティア研修として、県下で最初に市主催事業のボランティアを公募し、90名の応募者を得た。研修も概ね好評で、50～60名の参加者で熱気があふれている。今後は参加者のニーズを問いつながらのさらなる協力が望まれる。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> A 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	「生涯学習の啓発は身近で大衆的なテーマから」を念頭に、パルンアート講習やボランティアの啓発講演会など、職員の人脈をフルに生かした、低コストで内容のある講座が出来たと思われる。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	研修参加者がそれぞれの立場において、いかに学んだ内容を生涯学習フェスティバルで発揮していたか、今後の活動内容によるので現段階では有効性が判断できないが、比較的地味な全国大会の啓発には研修参加者の口コミも有効な手段と認識している。
	市民参画度		

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	説明 予算は前年比20%減で実施するが、参加者はさらに増加する勢いがある。事業の本番の年であり、職員人件費の増額は仕方ないと思われる。
----------	---	--

目標値	結果指標量	100	結果指標量	
	成果指標量	100		

総合評価	平成19年度「全国生涯学習フェスティバル」開催に向けてのボランティア研修を受けられた多くの方（予想で100名以上）が、市内の団体やグループの学習活動の指導者になっていただくのが目標であり、大会終了後も引き続き生涯学習の啓発を図る必要がある。	評価区分 <A~E> A
------	--	------------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	--

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	今年度多くの受講生による多様なニーズをアンケート調査し、生涯学習への市民の要	20年度	大会へのボランティア参加の経験を生かした学習活動の指導者養成を行う。